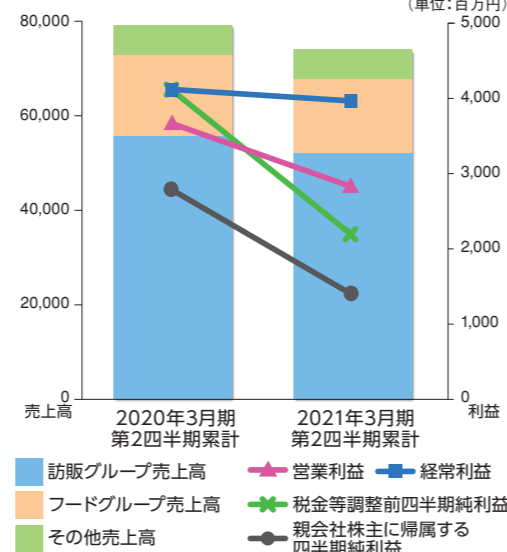


連結比較損益計算書(要約)

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減
売上高	79,157	74,060	△5,097
営業利益	3,698	2,837	△861
経常利益	4,115	3,962	△152
税金等調整前四半期純利益	4,123	2,195	△1,928
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,783	1,393	△1,390

- POINT**
- すべてのセグメントで、新型コロナウイルスの影響を受け減収減益となったものの、減少幅は当初の想定を下回った(2020.10.29公表「業績修正に関するお知らせ」ご参照)
 - 訪販グループは、既存のお客様への商品のお届けや交換の延期・中止の発生、定期サービスの一時休止等により、特に第1四半期に大きな影響を受けた
 - フードグループは、主力のミスタードーナツにおいてテイクアウト売上は増加したものの、イートイン売上が大きく減少
 - 持分法適用関連会社である株式会社ナックの収益が改善したことで、営業外収益が改善
 - 第1四半期に加盟店及びその従業員に対しお見舞金を支給し、特別損益は悪化

売上高および利益の前期比較



連結比較貸借対照表(要約)

	前期末 (2020年3月末)	当期末 (2021年9月末)	増減
流動資産	62,195	65,217	1 3,022
固定資産	122,963	116,966	△5,996
有形固定資産	50,360	50,289	△71
無形固定資産	10,922	10,325	△597
投資その他の資産	61,680	56,352	2 △5,328
資産合計	185,158	182,184	△2,974

- 1 流動資産**
- 「現金及び預金」が6,401百万円減少
 - 「有価証券」が6,614百万円増加
 - 「商品及び製品」が666百万円増加
 - 「その他(未収入金等)」が1,346百万円増加
- 2 投資その他の資産**
- 「投資有価証券」が4,128百万円減少
 - 「繰延税金資産」が1,200百万円減少

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	前期末 (2020年3月末)	当期末 (2021年9月末)	増減
流動負債	34,392	29,901	3 △4,490
固定負債	8,735	8,640	△94
負債合計	43,127	38,542	△4,584
株主資本	134,482	134,327	△154
その他の包括利益累計額	7,256	9,019	1,762
新株予約権	50	42	△8
非支配株主持分	241	252	10
純資産合計	142,031	143,641	1,610
負債純資産合計	185,158	182,184	4 △2,974

- 3 流動負債**
- 「未払法人税等」が1,239百万円減少
 - 「未払金」が2,066百万円減少
- 4 純資産合計**
- 「利益剰余金」が181百万円減少
 - 「その他有価証券評価差額金」が1,793百万円増加

セグメント毎の状況

訪販グループ

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減
外部顧客への売上高	55,644	52,015	△ 3,628
セグメント間の内部売上高	303	278	△ 25
計	55,947	52,294	△ 3,653

- POINT**
- 家庭向けダストコントロール商品の売上は減少
 - ・第1四半期に新規のお客様を獲得する積極的な営業活動が実施できなかったことや既存のお客様の交換時期の延期が発生したこと等により売上高は減少
 - ・前期、消費税増税前の9月に販売を開始したお掃除セット「くらしキレイBOX」を、当期は例年通り下期の販売とした影響も大きな減収要因となった
 - ・「アルコール除菌剤」等の除菌関連商品の売上は増加
 - 事業所向けダストコントロール商品の売上も減少
 - ・第1四半期に緊急事態宣言発出に伴う自治体からの休業要請に応じたお客様店舗の休店によるマット等の商品交換の中止、延期が発生し、売上高は前年同期を下回った
 - ・空間清浄機「クリア空感」、手指消毒剤「ウエルパスマイルド」等の衛生関連商品の売上は増加
 - ケアサービスの売上も減少
 - ・業務提供サービスにつきましても、お客様店舗の休店や個人の外出自粛等により定期サービスの一時休止が第1四半期に多く発生したことなどで全体では減収
 - ・緊急事態宣言解除後は一時休止も減少する等、新型コロナウイルスの影響が徐々に沈静化すると共に、除菌関連サービスは好調に推移
 - レントオール事業はイベントのキャンセル等が相次ぎ、大幅な減収

フードグループ

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減
外部顧客への売上高	17,231	15,938	△ 1,292
セグメント間の内部売上高	5	3	△ 2
計	17,236	15,942	△ 1,294

- POINT**
- <ミスタードーナツ>
- イートイン減少
 - ・コロナ禍で一時的な休店や営業時間の短縮、ソーシャルディスタンス確保のために席数を減少させたことの影響は大きく、客数が大幅に減少し、お客様売上は減少
 - テイクアウト増加
 - ・コロナ禍で持ち帰り需要が高まる
 - ・50周年アンバサダー菅田将暉氏による数量限定のスペシャルテイクアウトボックスが売上増加に寄与
 - 「miso meets」、季節限定商品好調
 - ・第1四半期「抹茶の、頂シリーズ」「抹茶の、驚シリーズ」(パティシエ 鑑塚俊彦氏、宇治茶専門店「祇園辻利」との共同開発商品)
 - ・第2四半期「もちクリームドーナツコレクション」(モチクリームジャパン株式会社との共同開発商品)
 - ・「さつまいもド」等の季節限定商品も好調に推移
 - カフェテリアショーケースを扉付きに変更
 - ・今期中にカフェテリア方式のショーケースを全て扉付きにすることに着手

<その他のフード事業>

- 店舗数が増加した「ベーカリーファクトリー」は増収となったものの、「パイフェイス」、「かつアンドかつ」は、いずれも新型コロナウイルスの影響を受け減収
- 「ザ・シフォン&スプーン」は2020年7月に全店舗を閉鎖

その他

	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計	増減
外部顧客への売上高	6,281	6,105	△ 176
セグメント間の内部売上高	997	1,336	339
計	7,278	7,441	162

- POINT**
- リース及び保険代理業のダスキン共益株式会社、病院施設マネジメントサービスの株式会社ダスキンヘルスケアは共に増収
 - 海外連結子会社は、当社グループ向けマスク売上を計上したこと増収となったものの、外部顧客に対する売上は新型コロナウイルスの影響で大きく減少

株価推移(週足) 2020年4月~9月

※最終週のみ9月28日~30日の集計を反映

